

保護者の皆様

令和4年3月17日

摂津市立味生小学校
校長 大崎 貴子

学校生活アンケートのまとめについて（報告）

平素は本校の教育活動に、ご理解・ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、今年1月に実施いたしました「学校生活アンケート」の結果を集計いたしましたので、ご報告いたします。お忙しい中にもかかわらず、多くの保護者の皆様から貴重なご意見をいただくことができました。重ねてお礼申し上げます。

味生小学校に通われているすべてのお子さんが、楽しく、充実した学校生活を送り、学校教育目標でもある「あたたかい心とことばのあふれる学校」となるよう、アンケートの結果も踏まえ、今年度の取組みの反省と次年度に向けてさらに充実した教育活動を行っていきけるよう、全教職員で論議を深めてまいります。

※アンケート結果は、別紙参照

児童アンケートの結果の概要

★学校生活と人間関係★

「先生たちは、いじめなど困ったことが起こった時、解決してくれますか」「命の大切さや集団生活のルールについて、学んだことがありますか」「そうじ時間を守り、きちんとそうじをしていますか」などの質問には、95%以上の児童が「はい」と回答しています。これまでの取組みを通して、児童にとって学校は困った時には助けてくれる安全・安心の場所であり、お互いを大切にすることやルールを教えてくれると感じているようです。そして、その学んだことを実践し、活用し、学校生活に生かしている様子が見えます。

★生活習慣★

「『おはよう』『さようなら』『ありがとう』『ごめんなさい』などのあいさつがきちんとできていますか」などの質問では、数値が前年度より大きく向上し、コミュニケーションの第一歩として大切にしようとする心が育ってきていると感じます。ご家庭で、「あいさつ」の大切さを、常日頃から、きちんとお話しいただいているからこそその向上だと考えます。

「台風や地震や火災など、身に危険がせまった時、どうしたらよいか教えてもらっていますか」の質問には、95%以上の児童が「はい」と回答しています。防災教育は、学校でも指導しておりますが、先日の学校災害備蓄品(避難所用)配付のように、防災について考える機会をこれか

らも大切にしていまいります。災害備蓄品の備えをするなど、ご家庭でも有事の際に備える事の大切さを見童にお伝えいただければと思います。

★学力向上★

「授業はわかりやすいですか」「先生たちは、教え方にいろいろな工夫をしていますか」「先生たちは、学習や取組みの中で努力した時、ほめたり、認めたりしてくれますか」などの質問で「はい」との回答が約90%でした。本校で取り組んでおります「学習指導要領に基づき、つけたい力に向かって、お互いが協力し合いながら、意見を交換したり、話し合ったりする学習」の成果が現れており、児童がその成果を教員から評価されていると感じていると考えます。しかし、「授業で自分の考えをまとめたり、発表したりすることがありますか」「クラスでの話し合いで、意見を言うことができますか」の質問では、「はい」の回答が約80%でした。学習活動において協力や話し合いを行ってはいるが、自らが意見を言っているわけではないと感じているようです。グループ活動の様子をきちんと観察し、今後は自分の意見を言うことができるよう指導してまいります。

保護者アンケートの結果の概要 回収率89.4%

「お子さんは、毎日楽しく登校している」「学校の雰囲気がよく、子どもたちは生き生きしている」「学校は、お子さんのことをよく理解し、指導している」「お子さんは、学校で友達と楽しく遊んでいる」「先生は子どものまがった行動を指導してくれる」「学習の内容や進度等を、懇談や学年だよりなどによって知ることができる」「台風や地震などの対応について、お子さんや保護者の皆様に知らされている」「学校が保護者に出す文書・事務連絡等は適切である」の質問では、“肯定的な”回答が90%以上の高い数値となっています。

このことは、お子様が学校で、友達とも教員ともしっかりと関係を築け、楽しく学校生活を送っていると評価いただくとともに、学校からの発信にも良い評価をいただいたものと考えます。

一方、「お子さんは、授業が楽しく、わかりやすいと言っている」「学校は、教育方針をわかりやすく伝えている」「通知表（あゆみ）は、子ども学力や達成感をわかりやすく表すように工夫されている」「学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的にきめ細かく行っている」の質問では、“否定的”な回答が10%以上の数値となっています。

お子様が学習に対し難しいと感じている現状をとらえ、「わかる授業」「できたと感じることができる授業」について改めて考え、授業改善を行っていきます。また、前段で、学校からの発信について評価いただいていると述べましたが、未だ至らない部分があることを再認識し、きめ細やかな発信と伝えるべき内容の精査に努めてまいります。

「学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている」「学校は保護者・地域の願いに応えている」「学校は、自分の生き方を考え、豊かな心を持った子どもを育てようとしている」「学習環境をよくするため、学校の施設・設備は改善されている」「学校はいじめや暴

力のない学校づくりに取り組んでいる」「学校では子どもに関する個人情報を守られている」の質問では、“わからない”の回答が10%以上の数値となりました。

校長の思いや学校の施設や環境整備の状況は家庭には十分伝わっていません。保護者の皆様にわかっていただくためには、もっと説明し、もっと発信することが大切だと痛感いたしました。

“同じ質問”で、児童・保護者・教職員の認識の違いを知り、児童理解を深める

今回、回答の違いを認識し、教育活動に対する思いが行動や言動にしっかり表れ、児童や保護者の皆様に伝わるような教育活動に努めてまいります。

	児童	保護者	教職員
1	学校へ行くのが楽しいですか …84.3%	お子さんは、毎日楽しく登校している …90.9%	児童は、楽しく学校生活を送っている …100%
2	授業は、わかりやすいですか …91.2%	お子さんは、授業が楽しく、わかりやすいと言っている …75.6%	自分は、児童がわかったと実感できる授業を行えるよう工夫・改善に努めている …100%
3	学校で相談できる先生がいますか …85.7%	学校は、お子さんのことについてよく相談に応じてくれる …87.2%	自分は、児童理解にカウンセリングマインドをもって指導できている …100%
4	命の大切さや集団生活のルールについて、学んだことがありますか …97.2%	学校は命を大切にす心や集団生活のルールを守る態度を育てようとしている …82.9%	自分は、常に人権感覚を磨き、人権尊重の立場に立った指導を行っている …90.0%

『質問1～3』に関しては、教職員が考えているほど、児童や保護者にとって効果が実感できていないと思われます。児童理解や寄り添い方などを振り返り、その場面のみ様子で判断し、本質な悩みや困っている事の解決につながっているかを見極め、根本の解決に向かって対応していく必要があると考えます。

人権感覚に関する『質問4』では、児童は高い割合ですが、教職員や保護者の皆様の割合はそれよりも低い状況です。これは、児童が思っている以上に、周りから見ればまだまだそうとは感じる事ができないという部分だと思います。児童が「学校で学んだこと」を知識

だけに終わらせ、行動につながるような「生きて働くもの」にすることができていないと考えられます。学びが、自分の感情を見つめ直しながら行われているのか、継続して取り組むことができる事なのか、周りの人に与える影響について考えることができているのかなど、その学ばせ方に工夫が必要と考えます。